



凡例 ●●208号 ▲▲地区改良工事 工期 R〇.〇.〇～R〇.〇.〇 現場状況写真 12月号は「現場の安全確保」がテーマ。『Safety-II』の考え方を参考に、現場代理人さんが見聞きした「危険かも!」の瞬間を共有し、安全性向上を目指します。 ●●工事中 ①受注者名 ②現場代理人氏名 ④ 現場代理人が見た！聞いた！ヒヤリハットの瞬間とその時の対応・対策 現場代理人	1 熊本208号 大島地区構造物外工事 R7.4.1～R8.3.18 現場状況写真 ボックス設置完了 ①株中川組 ②前崎 優希 製品高4mのボックスカルバート製品上部の吊り金具を外す際の安全確保が重要と感じた。ボックス上部からの転倒防止のため単管足場に手すりだけを設け、危険箇所の周知徹底をした。	2 熊本208号 大島高架橋下部工(P7)外工事 R7.1.18～R8.2.27 現場状況写真 橋脚躯体正完了 ①株杉本建設 ②廣田 一誠 作業員さんから、別の現場で炎天下の作業中立ちくらみで倒れかけたと聞いた。熱中症対策ウォッチの使用、休憩用テントとスポットクーラーの設置を行い、熱中症対策に努めた。	3 熊本208号 大島高架橋上部工(P14-P17)工事 R7.2.1～R9.3.19 現場状況写真 送出しヤード着工前 ①三井住友建設鉄構エンジニアリング㈱ ②幡井 嶺 横桁を吊り上げる作業の際、転倒防止の工具を外し忘れ、架台のH鋼と一緒に吊上がり、玉掛け者と接触しそうになった。3色の介錯ロープを使うなど、3・3・3運動を徹底した。	4 熊本208号 大島高架橋下部工(P15)工事 R7.3.3～R8.3.31 現場状況写真 場所内杭工工事中 ①三州建設㈱ ②長郷 空 円柱状のコンクリート殻をクレーンで荷下ろしし玉掛け解除のため地上に置いた際、少し転がるそぶりを見せた。準備していた輪止めで固定するよう指導し、転がり防止を図った。
5 熊本208号 大島地区函渠付替(その2)工事 R7.1.18～R8.2.27 現場状況写真 排水構造物工工事中 ①三州建設㈱ ②神田 生樹 熱中症は発症から30分以内の対応が生存率に大きく影響すると聞いた。土留内で作業員が倒れた場合に備え、すぐ救出できるよう救助用の担架を設置した。	6 熊本208号 大島地区函渠付替(その3)工事 R7.4.1～R8.1.30 現場状況写真 構造物撤去工工事中 ①株池田建設 ②平山 孝広 事前情報は「埋設物なし」だったが現地にはマンホールが確認された。地域への情報収集、探査機や試掘調査を実施したところ埋設物が確認された。情報収集や現地確認が大事だと思った。	7 熊本208号 大島地区函渠付替(その4)工事 R7.4.1～R8.1.30 現場状況写真 構造物撤去工工事中 ①興亜建設工業㈱ ②古賀 海輝 埋設物の事前確認では、地中80cmに埋設物が確認されていたが、試掘を行うと50cmに埋設物が確認された。試掘の重要性を再認識した。	8 熊本208号 大島高架橋オフランプ上部工工事 R6.10.1～R8.1.31 現場状況写真 橋面工工事中 ①オリエンタル白石㈱ ②船原 祐樹 取付ボルトの締め込み不良が原因で型枠が損壊する事例を聞いた。ボルトの締め込み長を事前に計測しテープによるマージンを施すことで、視認性を可能にし、締め込み不足を防止した。	9 熊本208号 大島地区オンランプ擁壁工事 R7.7.3～R8.2.27 現場状況写真 場所打擁壁工工事中 ①南古田建設 ②早田 いつみ バックホウで土砂積込時に旋回したところ、ダンプトラックの横から作業員が出てきてバックホウと接触しそうになった。作業半径内立入禁止措置、監視員を設置した。
10 熊本208号 大島高架橋下部工(Pm10)工事 R7.7.5～R8.2.27 現場状況写真 仮締切矢板圧入工工事中 ①株杉本建設 ②福山 真也 設計では道路対面にある地下埋設物にアンカーは干渉しないと考えられていたが、埋設物調査の結果干渉する事が判明した。アンカーの径を太くし長さを短く変更することで対応した。	11 福岡208号 四山地区改良(その2)工事 R7.4.1～R8.3.18 現場状況写真 掘削工工事中 ①株昭和組 ②三笠 拓也 下部工の躯体天端のコンクリート養生の撤去中に、足元が見えづらく足場と躯体の隙間に落下しかけた。隙間を無くするためブラケットを取り付けて足場板を設置した。	12 福岡208号 三池港IC南橋下部工(A2)外工事 R6.11.12～R8.1.30 現場状況写真 橋台躯体工工事中 ①株瀬口組 ②坂井 真幸 足場組立時、上段から下段に資材の受け渡し中、連携が上手くいかず、下段の作業員に資材が接触しそうになった。声掛け等の合図を再度確認した。	13 福岡208号 新港地区改良工事 R7.4.15～R7.12.19 現場状況写真 路体盛土工工事中 ①井樋建設㈱ ②鬼木 寿朗 トラックから敷設板を荷下ししていた際、吊钩とトラックの荷台に挟まれそうになった。吊钩が振れても挟まれないような立ち位置で作業するよう再度指導を徹底した。	14 福岡208号 有明海沿岸道路(福岡地区)改良外工事 R7.5.7～R8.1.30 現場状況写真 ブロックマット工工事中 ①株廣瀬組 ②津村 太輔 重機を搬入する際に、運転手から電線に当たるよ！と言われ、高さを計測したら想定以上に垂れており切断の危険があった。日々状況が変化する現場で、日々の確認の大事さを感じた。
15 令和7年度 有明海沿岸国道管内CCTV設備設置工事 R7.8.2～R8.2.27 現場状況写真 現地調査中 ①福岡芝浦電子㈱ ②星原 真也 夏場の現地調査中、作業員が体調不良を訴えたため至急休憩、水分補給を行った。一時間おきに休憩、体調確認、水分補給を行うことを徹底した。	16 令和7年度 有明海沿岸国道管内みやま地区外舗装修繕工事 R7.8.2～R8.3.13 現場状況写真 着工準備中 ①尾花建設㈱ ②田熊 大作 バックホウにて長尺資材の吊り移動作業を行った際、資材先端が死角となり、近くの作業員の体に当たりそうになったと聞いた。周囲確認の徹底および、合図を徹底することを再確認した。	17 令和7・8年度 有明海沿岸国道管内道路維持修繕工事 R7.4.1～R9.3.31 現場状況写真 除草作業中 ①株大藪組 ②長瀬 易秀 塩化カルシウムの入った1t袋を吊り上げた際、袋が劣化で破れそうになりヒヤリとした。1つ1つ袋の状態について目視確認の徹底と劣化した袋の交換を行うこととした。	18 佐賀208号 川副地区改良(その6)工事 R7.9.13～R8.2.27 現場状況写真 着工準備中 ①株大同工務店 ②青木 哲也 盛土の法肩付近を転圧作業時、法肩が少し崩壊しタイヤローラーが落ちそうになった。法肩付近を転圧する際は縦断方向に転圧せず横断方向に転圧するように周知を徹底した。	19 佐賀208号 川副地区改良(その2)工事 R7.4.1～R7.12.19 現場状況写真 盛土工工事中 ①西村・中島JV ②園田 弘樹 油圧ショベルの運転台へ昇り降りする際、手足元が滑り転落しそうになった別現場の事例を聞いた。当現場では昇降部の手足元箇所には蛍光テープを貼り、三点支持で昇降するように徹底した。

20

佐賀208号 川副地区改良
(その3)工事 R7.4.1～R7.12.19

現場状況写真

盛土施工中

①牟田建設㈱ ②本告 栄

埋設管の試掘調査で管理者からは深さ1.2mと聞いていたが、実際は0.6mの深さであった。事前確認したことでの思い込みの危険性を認識し、探査機での確認を徹底した。

21

佐賀208号 川副地区改良
(その4)工事 R7.3.17～R7.12.19

現場状況写真

表土剥ぎ取り状況

①牟田建設㈱ ②長 友太

ダンプトラックの荷台が架空線に接触しかけたと聞いた。荷台の降下確認、架空線の表示を行うと共に作業前運転手への周知が大事だと感じた。

22

佐賀208号 川副地区改良
(その5)工事 R7.8.5～R8.2.27

現場状況写真

ブロック積工施工中

①岡本建設㈱ ②山下 雅史

排水工(ふとんかご)施工中に、建設機械と作業員が接触する恐れがあった。重機と作業員の同時施工であり、作業半径外に退避が難しい現場であるため作業合図を徹底した。

23

佐賀208号 川副IC橋下部工
(A1)工事 R7.1.18～R7.11.26

現場状況写真

施工完了

①榊峰組 ②山上 慶彦

足場上での作業中、不意に同僚に呼ばれ安全帯を外し忘れて移動し転倒しかけた。行動を切り替える際は一呼吸おく余裕が安全には必須だと実感。これを考慮した工程管理を行った。

24

佐賀208号 川副IC橋上部工事
R7.8.7～R8.7.10

現場状況写真

原寸作業状況

①名村造船所 ②末吉 魁人

工場製作時、上方吊り式アームから溶材が落下したが、幸い直下にはいなかった。落下防止ピンの付け忘れが原因のため、ピンを見やすく改善し、作業前の確認を徹底するようにした。

令和7年度 有明海沿岸国道事務所安全協議会 安全大会を開催（令和7年10月21日）

有明海沿岸国道事務所安全協議会（会長：有明海沿岸国道事務所長）では、受注者および作業員の皆様の安全を確保し事故につながる要因を未然に防止するため、管内の安全促進を図るなど労働災害防止に努めています。

本年度も、労働災害の防止ならびに安全対策の更なる強化の為、安全大会を開催いたしました。当日は、佐賀労働基準監督署より建設業の災害防止対策について、また柳川警察署より建設工事における不当要求等に関する対応・対策についてご講話をいただきました。さらに、受注者を代表して(株)中野建設より、現在施工中の佐賀208号 川副IC橋下部工(A2)工事における安全対策の取組事例について、発注者より九州地方整備局の工事事故の現状と建設現場における事故防止の取り組みについてご紹介いたしました。最後に、有明海沿岸道路安全連絡協議会の代表より『安全宣言』が行われ、安全への決意を新たにしました。

今回の安全大会には、工事関係者等102名にご参加いただきました。ご紹介いただいた事例や対策について各社で共有し、安全への意識をさらに高めながら、安心・安全な工事の推進に努めてまいります。

令和7年度 有明海沿岸国道事務所安全協議会 安全大会

有明海沿岸国道事務所 令和7年10月21日

安全宣言の様子

建設監督官

事務所長

安全連絡協議会北部地区会長
(株)中島工務店 園田氏

安全連絡協議会南部地区会長
(株)池田建設 池田氏

次 第

1. 開会挨拶

2. 建設業の災害防止対策

3. 建設工事における不当要求当に関する対応・対策

4. 佐賀208号 川副IC橋下部工(A2)工事における安全対策の取り組み事例
(株)中野建設

5. 九州地方整備局の工事事故の現状 ～建設現場における事故防止の取り組み～
有明海沿岸国道事務所

6. 安全宣言

7. 閉会挨拶

佐賀労働局 佐賀労働基準監督署

福岡県警察 柳川警察署

一般国道208号有明海沿岸道路安全連絡協議会

安全宣言（抜粋）

1. 受発注間及び元請・協力会社間の日頃からのコミュニケーションの充実を図ります。

2. 作業員及び元請技術者(現場代理人等)が作業手順の確認を徹底したうえで作業を実施します。

3. 現場従事者全員が一丸となり安全に対する強い自覚と責任感を持つように指導します。

4. 有明海沿岸道路でつながる3県が連携して安全管理活動の情報を共有し、さらなる安全意識の向上を図り、安全管理活動に邁進してまいります。

私たちが受注者一同は、本大会を契機に新たな決意のもと、安全に対する意識を高め、一丸となって安全活動に取り組み、『無事故・無災害』を目指すことをここに宣言します。

令和7年10月21日

受注者代表
一般国道208号 有明海沿岸道路安全連絡協議会
南部地区会長株式会社池田建設 池田裕太
北部地区会長株式会社中島工務店 園田弘樹

▲宣言書

佐賀労働基準監督署 溝上氏

▲佐賀労働基準監督署による講話

柳川警察署 片山氏

▲柳川警察署による講話

(株)中野建設 重松氏

▲(株)中野建設による取組事例の紹介

▲当日の会場の様子

【安全大会参加者】・工事受注者 37名 ・業務受注者 42名
・自治体職員 7名 ・有国事務所 16名

安全大会に参加した受注者の声

■ 佐賀労働基準監督署の講話

・安全に対する視点で、いちばん参考になった。(工事受注者)

・労働災害の発生状況を確認でき、安全意識の向上ができた。(業務受注者)

・建設労働災害防止のポイントや特に留意すべき点を把握できた。(業務受注者)

■ (株)中野建設による取組事例の紹介

・他社の安全管理の工夫等を見て参考になった。(工事受注者)

・同じ受注者として、他社が行っている取組に興味・関心がわいた。(工事受注者)

・最新の熱中症対策事例が参考になった。(業務受注者)

■ 柳川警察署の講話

・近々、詐欺行為がニュースで頻繁にあっているなか、講話の中で不当要求はより身近な事だなと感じた。(工事受注者)

・いまだに不当な要求をされる事があるとは知らなかった。現状や対応を知ることができてよかった。(業務受注者)

■ 九州地方整備局の工事事故の現状（発注者）

・事故事例の種類が多く、現場の安全訓練や災害防止協議会の資料として幅広く活用できる。(工事受注者)

・工事事故の現状が把握でき、関係者全員に共有し事故防止に努められる。(工事受注者)

・コンサルタントとして配慮すべき安全対策の参考になった。(業務受注者)